

# 平安京左京五条二坊十一町跡・烏丸綾小路遺跡発掘調査現地公開資料

2016年 7月23日

公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

遺 跡 名：平安京左京五条二坊十一町跡・烏丸綾小路遺跡

所 在 地：京都市下京区高辻通堀川東入西高辻町602番地（元京都市立格致小学校内）

調査期間：平成28年 5月16日～8月31日（予定）

調査面積：423㎡（予定）

## 1. はじめに

今回の調査は、元格致小学校における体育館及び特別教室棟整備工事に伴う発掘調査です。当該地は平安京左京五条二坊十一町跡及び烏丸綾小路遺跡の西部にあたります。

調査区は、調査対象地の北側に1区、南側に2区を設定しました。遺跡は各時代の遺構が重なりをもって存在しており、複数の生活面を確認して調査を行っています。

## 2. 検出した遺構

**1区** 弥生時代から江戸時代の流路、溝、柱穴、土坑（ごみ穴）などが見つかりました。

流路145 調査区西部で見つかった弥生時代の流路。北東から南西方向へと続きます。弥生土器が出土しました。

柱列1 調査区北部で見つかった、東西に延長する平安時代の柱列。これ以外にも多くの柱穴があり、建物が存在したと考えられます。

溝30 調査区東部で見つかった、南北方向に延びる鎌倉時代の溝。1町の東西中心付近に位置します。

土坑1 調査区中央部で見つかった、江戸時代後期の土坑。伏見人形のキツネが大量に出土しました。土坑2・3も同様のものでした。

**2区** 中世・近世の遺構を調査中です。柱穴、土坑、井戸などが見つかりました。

土坑123 調査区北西部で見つかった、鎌倉時代の方形の土坑。壁はほぼ垂直で、四隅に柱穴がみつかったことから地下室だと考えられます。ここからは大量の土器が出土しています。

土坑216 調査区東部で見つかった、鎌倉時代の南北方向にやや長い方形の土坑。完形の土師器皿などが出土しました。お墓の可能性が考えられます。この周辺には他にも墓と考えられる土坑があります。

土坑209 調査区南東部で見つかった土坑。同一の個体と思われる常滑の甕片が大量に出土しました。

## 3. 調査成果

弥生時代の流路を発見し、烏丸綾小路遺跡の一端を確認することができました。また、平安時代から格致小学校が開校する直前までの連綿とした人々の営みを示す遺構を多数確認することができました。



図1 調査位置図(1:2,500)

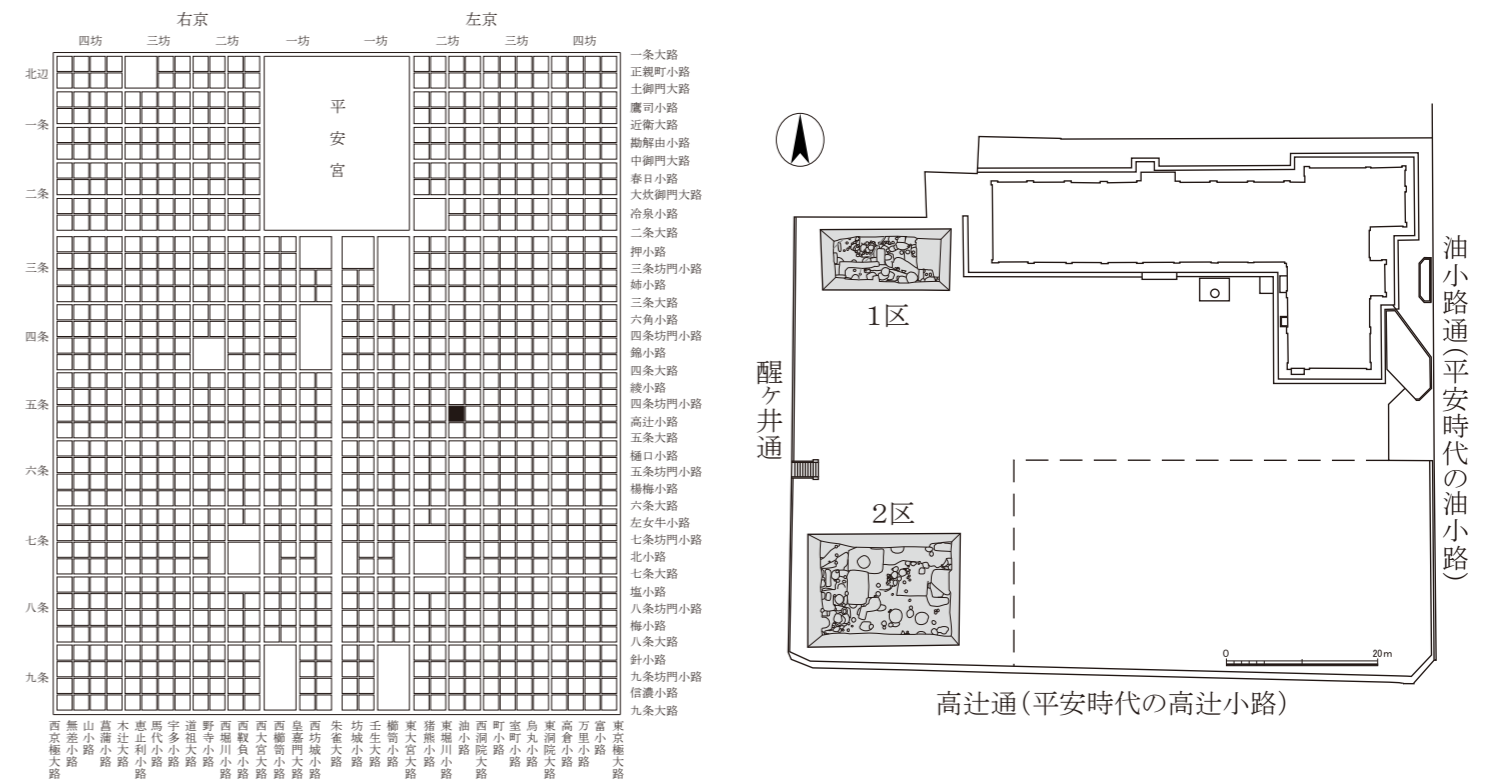


図2 平安京条坊図(黒地点が調査地)

図3 調査区配置図(1:1,000)

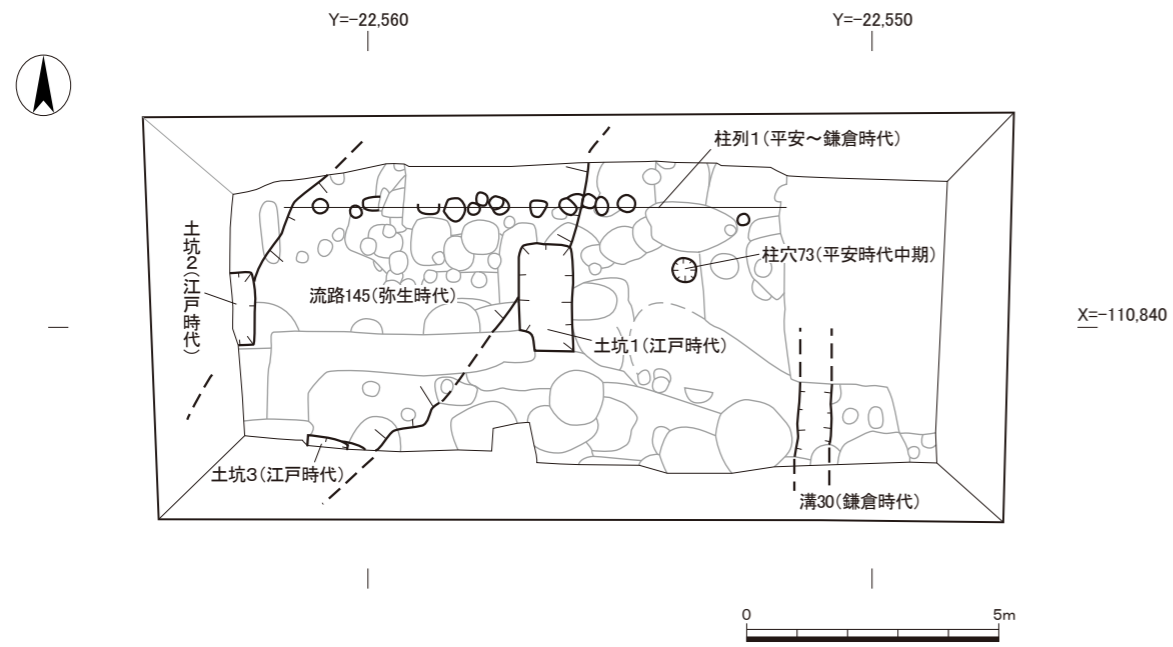


図4 1区平面図(1:150)



写真1 1区全景 (東から)

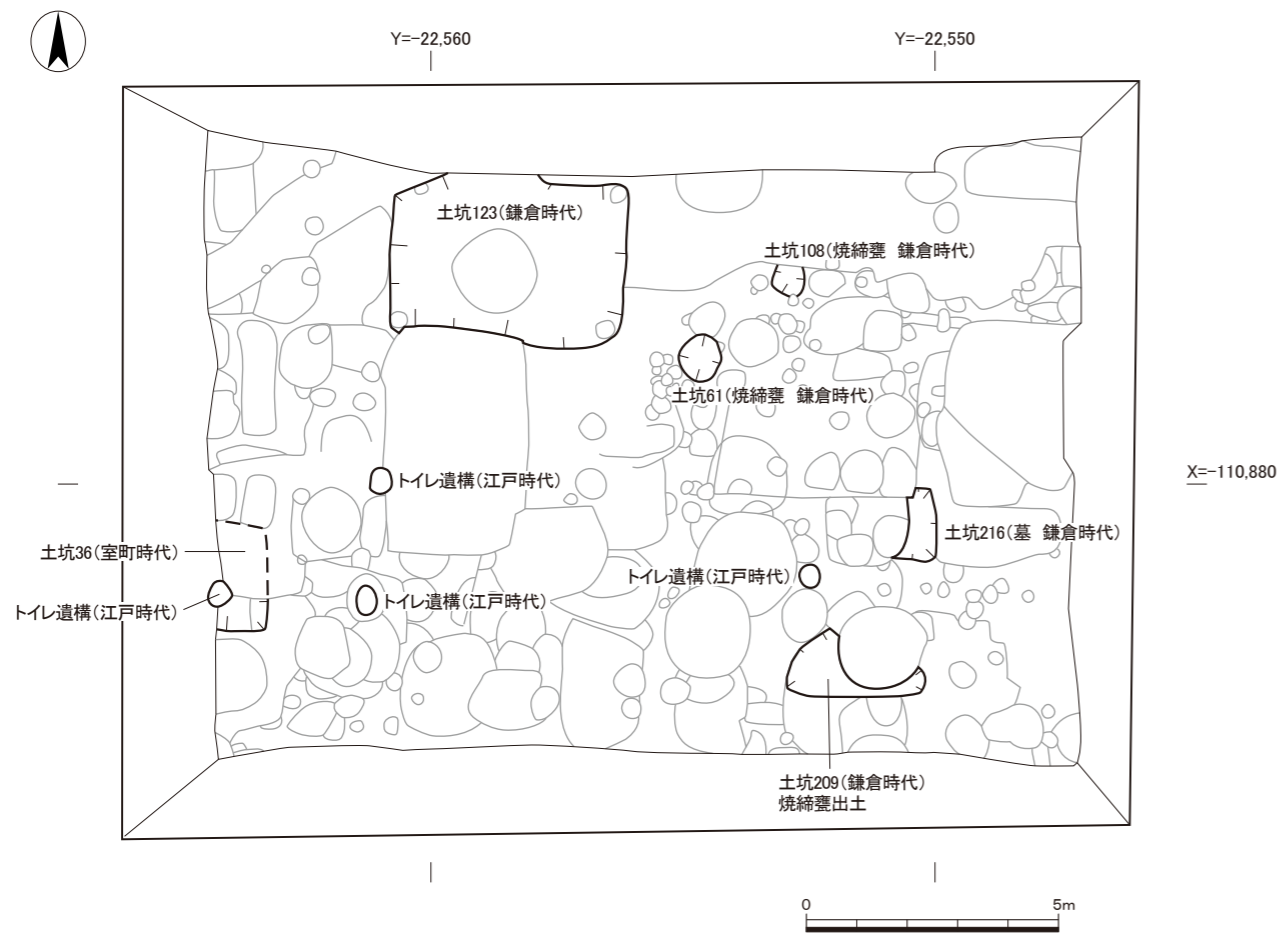


図5 2区平面図(1:150)



写真2 2区全景 (東から)